

令和9年度新入生

入学のてびき



サンフランシスコ日本語補習校
中高部サンフランシスコ校

は じ め に

6年生の皆さん、3月には、サンフランシスコ日本語補習校幼小部を卒業ですね。

中高部へ進学し日本語による学習を継続しようと考えている人がたくさんいると思います。中高部では皆さんの入学をお待ちしているとともに、皆さんが今まで努力し培^{つちか}ってきた力を発揮して充実した中高部での学習・学校生活を期待しています。

中高部では学習内容や、学校生活のきまりが小学部とは違います。この冊子では、説明会でお話ししたような、その違いと、中学校に通学する心構えをお話しします。

中学生として成長して行くために、皆さんに頭に入れて十分理解しておいて欲しいことが幾^{いく}つかあります。

まず、補習校に通う目的をはっきりさせて通学することです。

「なぜ・なんのために」という目的しっかりもつことです。その目的が定まっていないと、学年が上がれば上がるほど最後までやり通すことは困難になります。毎週土曜日に通学して何を得るのか、何のために補習校で時間を過ごして、授業を受けるのか、その意義をしっかりと念頭に入れてください。あくまでも学校は学習の場であることを忘れないで欲しいと思います。

次に、日本語補習校は「日本語で」学習する学校で、「日本語を」習う学校ではありません。ですから日本語で授業を受け、日本語で考えることができるということが大前提です。補習校での学習は授業中だけのものではありません。学校生活や様々な行事を通して学校という社会の中で相手のことを認め、他の人と協力することを学び、自分を伸ばしていきます。その中で日本の文化や考え方を学ぶのです。そのためには補習校にいるあいだは日本語を使うということが非常に大切になってきます。「英語の方が得意だ。」という人は数多くいることでしょう。だからこそ日本語を使う努力が必要なのです。

最後に、おうちの方と皆さんの補習校に通うことについての意識を同じにすることです。補習校へ通うについてはこれが一番大切なことかもしれません。「本当は行きたくないけれど、お父さん、お母さんが行きなさいと言うからしかたなく来ている。」と言う人がいます。これは大きな障害となります。中学入学についてはおうちの方とよく話し合い、お互い^{たが}が理解・納得して決めてください。中学では、前にも述べた「目的」をしっかり持つということが大切です。人に決めてもらうのではなく、自分で考え、決断し、行動できるようになってください。

この手引きをおうちの方と一緒^{いっしょ}によく読み、しっかりと中高部進学について考えて、自分で決断して欲しいと思います。中高部サンフランシスコ校では自分で考え、決断でき、そして希望に満ちた皆さんを待っています！

1. 中 学 校 で の 学 習 内 容

中高部では、次のように授業を行っています。

(1) 教科によって担当の先生が変わります。

- ・ 1日5時間授業で、各授業は50分です。
- ・ 「算数」は教科名が変わり「数学」となります。国語と数学は各2時間。
- ・ 社会科・理科は1時間。年度途中で教科が変わります。
- ・ 国語科、数学科では副教材として漢字学習ノート、ワークブックなどを使用します。

(2) 1年間に前期・後期2回の定期テストがあります。

(3) 成績は5段階で評価され、年度末に通知表で家庭に通知されます。

(4) 中学部の学習は、小学部の学習が土台になっています。

(5) 各教科、読むこと、書くこと、発表することを中心に授業を進めます。

(6) 授業でわからない時は、進んで質問することが大切です。

(7) 毎週宿題が出ます。計画的な家庭学習が大切です。

2. 中高部時程表

令和8年度現在

内 容	時 間	備 考
登校時間	～ 8 : 3 5	3 5 分には朝会場所にいること。 遅れ ^{おく} そうな場合は、急ぎ足で！
全校朝会	8 : 3 5 ～ 8 : 4 5	大切な連絡事項や、学級活動があります。遅れ ^{おく} ないように登校してください。
学 活	8 : 4 5 ～ 9 : 0 0	
1 校時	9 : 0 0 ～ 9 : 5 0	
2 校時	9 : 5 5 ～ 1 0 : 4 5	
3 校時	1 0 : 5 0 ～ 1 1 : 4 0	
昼休み（清掃 ^{ふく} を含む）	1 1 : 4 0 ～ 1 2 : 4 0	生徒会等委員会・同好会活動時間
読書時間	1 2 : 4 0 ～ 1 2 : 5 0	静かに読書をします。
4 校時	1 2 : 5 0 ～ 1 : 4 0	
5 校時	1 : 4 5 ～ 2 : 3 5	
振り返りタイム	2 : 4 0 ～ 3 : 0 0	
帰りのクラス学活	3 : 0 0 ～ 3 : 1 0	
下 校	3 : 1 0 ～	

ご家庭へのお願い

「全校朝会」も「学級の朝学活」も、とても大切な教育活動です。遅刻^{ちこく}のないよう、お子様が8時35分には、朝会場所に到着^{よゆう}できるよう余裕を持ってお送りください。

3. 学習の心得・規則

日本語補習校小学部では小学部のきまりがあるように、中高部でも中高部としてのきまりがあります。そのきまりは日本の学校で定められている標準的なきまりと大きく違うわけではありません。学校生活をおくる上で必要な基本的なルールです。サンフランシスコ校・サンノゼ校共通の基本的なきまりがありますが、それぞれの環境に合わせた各校独自のきまりもあります。入学時には各自がこれらのきまりを読んで、それを守ることを約束するという生徒が署名した^{せいやくしょ}誓約書を提出します。

中高部サンフランシスコ校 学習の心得・規則

一つの社会や集団は、様々な個性や考え方をもった人たちが集まって形成されています。その多種多様な人たちが、共同生活を円滑に営むためには、どうしてもお互いに守らなければならない規則が必要となります。学校という一つの社会にも、生活する上での規則があり、お互いが気持ちよく補習校生活を送ることができるように、誰もが自覚をもってそれを守るようにしなければなりません。個人がそれぞれ勝手な行動をすれば、秩序は乱れ、落ち着いた生活はできなくなります。学校という社会で規則を守ることができない人が社会に出て規則を守ることにはできません。皆さんの良識ある行動を期待します。

（１）学習の心得

- ① 始業ベルと同時に着席で号令。なお、何らかの理由で遅刻した場合、授業終了の5分前は入室せず、休み時間まで職員室で待つ。（高等部は規定外とする）
- ② 授業中教室を離れるときは、教科担任から「許可シール」を受け取り胸に貼る。
- ③ 授業と授業の間の休み時間は、次時の学習の準備をするための時間、廊下では遊ばない。他のクラスに入らない。
- ④ 授業中、水を飲む場合は静かにその席で飲む。
- ⑤ 水筒は机の上に置かない。

（２）挨拶・日本語使用

- ① 補習校は「日本語」で学習する学校であるため、学校では授業中、授業外を問わず日本語で話す。
- ② 学校の職員（オレンジのタグをつけている人）、来校の保護者（水色のタグをつけ

ている人) や来客にはきちんと声に出して挨拶する。

- ③ 職員室入室の際には、「失礼します。〇年△組の XXXX です。」と挨拶し、用件を言ってから入る。退出の時は「失礼しました。」と言って退出する。職員室にいる先生方の指示に従う。
- ④ 授業の開始、終了時の挨拶を行う。当番はクラス全体を見回してから、号令を行う。

(3) 教室、および校舎の使用のきまり

借用校の事前の同意を条件に、教室使用が認められています。この事前の同意には、様々な教室使用の約束が盛り込まれています。したがって、これからの借用が保証されていくためにも、次のきまりは必ず守らなければなりません。

- ① 建物内外の現地校教師・生徒の品物、掲示物、備品にはさわらない。
- ② 教師のいない教室には、絶対に生徒だけで入らない、残らない。
- ③ 昼休みは予鈴が鳴るまで勝手に教室に入らない、戻らない。
- ④ 机、いす、壁などには落書きなどをせず、汚さない。
- ⑤ 教室内での遊び、飲食はしない。
 - ・ 食事の時間は昼休みに所定の場所のみ。
 - ・ ガムの持ち込みは禁止。
 - ・ 下校時も迎えの車に乗るまでは飲食は禁止。
- ⑥ 校庭、教室を汚さない。(自分で出したゴミの処理など、常に借りている学校内の美化を心がける。)
- ⑦ 机、いす等を移動した場合は、必ず元の場所に戻す。
- ⑧ 学校敷地外に出ることは、許可のある場合を除き厳禁とする。
- ⑨ 学校建物(窓ガラス・壁等)・器材を破損した場合は必ず報告する。

（４） 昼休みの過ごし方

借用施設の関係でいろいろな活動が制限されています。また、昼休みのスポーツ活動も制限されています。安全の上からも次の約束を守ってください。

- ① 許可されている種目は、原則として、バスケットボール、ドッジボール、 バレーボール、サッカー、バトミントン、フットボール（キャッチボールに限る）とする。
- ② ボールは家庭から持ってこない。学校のボールを使用する。ボールは職員室で事務・養護に申し出て借りる。
- ③ 許可された場所以外でのスポーツ活動はしない。
- ④ 昼休みのトランプなどのカード遊びを許可する。ボールと同様に事務・養護まで申し出て借りる。家庭からは持ってこない。
- ⑤ カードゲームは天候にかかわらず、図書室での使用も可能。

（５） 所持品に対するきまり

- ① 学習に関係のない物品・多額のお金・貴重品・危険物（ガン・ナイフ・及び類似品）等の持参は禁止する。
- ② ゲーム類・化粧品類などは持ってこない。
- ③ 携帯電話、アップルウォッチ（時刻を見るのは許可）やその他のデバイスの使用を禁止する。ゲートで電源を切ってバック パックにしまい、下校時は校舎の外にでるまで出さない。必要時には職員室で許可をもらい、その場での使用は可能。
- ④ 校内では、漫画を出したり見たりしない。貸し借りを目的とする場合は、校舎の外で行うこと。図書室で許可されている漫画本は読書タイムで読むことができる。
- ⑤ 英語の本、現地校関連の本、宿題などは持ってこない。

（６）身だしなみの心得

服装は清潔で安全性があり、相手に不快感を与えない、本校の教育方針に即した服装をしてください。

- ① 転びそうになるほどの高い上げ底靴は避ける。サンダル、クロックス、UGG スリッパ等、かかとが固定されていない靴は安全面を考慮し、禁止とする。履いてきた場合、昼休みにおけるボール遊びや球技大会などの参加を禁止する場合もある。
- ② 攻撃的なメッセージや言葉、あるいはギャングの象徴となるような言葉が入っている衣類を着用しない。
- ③ みだりに肌が露出するような衣類を着用しない。
 - ・ 肩を出したり、肩にかかる部分が 1 インチ以下のものは避ける。
 - ・ 下着が見えそうな短いスカートや下げパンは避ける。
 - ・ 下着が見える透けた素材の服は避ける。
- ④ 授業中や集会の時には帽子やフードの着用は、特別に許可を得ている場合以外禁止。

（７）通学についての決まり

通学時の安全を確保するため生徒だけの通学は原則として禁止されている。

- ① 生徒自身による自動車通学は禁止する。
- ② 生徒だけでの公共交通機関を使つての通学は、学校の許可がない限り禁止する。ただし高等部に限り、申請し許可された場合は可能とする。

上記のきまりが守れない生徒に対しては、本人が責任を負う形で指導をしていきます。その手順は、以下のとおりです。

- ① きまりに違反した生徒は担任及び他の先生の指導（事後処理及び反省、今後の方向等）を受ける。また、保護者に連絡する。
- ② 度重なる生徒は、次のいずれかの方法で指導する。
 - ・ 保護者にも学校・事務局に来てもらい、生徒とともに面談をし、指導の方向を決定する。
 - ・ 校長（教頭）等と面談し、懲戒（訓告・停学等）を含め指導の方向を決定する。
- ③ 再三注意されてもきまりが守れない生徒、または重大な問題行動をおこした生徒には、保護者とも相談のうえ、校長が別途規定により懲戒（停学・退学）も含め処分の方^{ふく}向を決定する。

誓 約 書

1，一年後の自分を想像し、どんな自分になっていたいですか？

2，そのために、どんな力を身につけたいですか？

私は、「学習の心得・規則」を守り、なりたい自分を目標に、この1年、日本語で学校生活を送ることを誓います。

令和 年 月 日

中学・高校 年 組、名前

署名（サイン）

4. 委員会活動について

中高部では行事、学校での活動などは基本的に保護者の助けを借りずに、生徒自身で運営します。そのために委員会が設置されており、活動内容に応じて委員会が中心となって行われます。

生徒会

生徒会は、中学1年生から高校2年生までの中高部生徒全員で構成されています。自分たちの生活を自主的に、そして主体的に向上させるために活動します。生徒会に属する委員会は次のようなものです。

<生徒会役員会>

会長ほか中高生数名の役員で構成されています。生徒会はみんなの学校生活が楽しくなるように、行事を工夫したり、生活の中で足りないところを見つけ出して取り組んだりして行きます。しかし生徒全員で話し合うのは大変なので、生徒会役員を選挙で選び、彼らに基本的な企画・運営きかくなどを生徒代表として行ってもらいます。

<クラス委員会>

各学級で選出された学級委員が生徒会役員会に招集された委員会会議に出席します。生徒会の決議事項をクラスに伝達し、クラスの意見を生徒会にもって行くクラス代表の委員会です。

<体育行事委員会>

球技大会の計画を立てたり、実行のお手伝いをしたりする委員会です。また年間を通して体育的なイベントを企画・実行します。

5. 中高部サンフランシスコ校行事

中高部では以下のように小学部とは少々違った行事を行っています。これらの行事は企画・運営と生徒（生徒会）主体で行われます。

<球技大会>

中高部の体育的行事は球技大会です。毎年2種目を各クラス男女別のチームをつくり、リーグ戦を行います。ここ数年の種目はバスケットボールとドッジボールでした。球技大会前に球技大会委員会を立ち上げ、その委員会中心で計画されます。

<ビブリオバトル>

自分で読んで人にも紹介したいと思う本をクラスで紹介し、チャンプ（優勝）になった本は購入し、図書館に入れられます。

<文化祭>

生徒会が中心となり文化祭が行われます。毎年テーマに沿って、各学級がステージ発表などを行っています。その他、有志による音楽演奏やダンスなどの発表もあります。クラスが一つの目標に向かって何かを作り上げて行く楽しい行事です。

<同好会活動>

その他に、同好会活動や生徒会が主催する活動もあります。できるだけ生徒が自主的に作り上げる行事を目指しています。現在、以下の同好会があります。

- ・ 漫画・アニメ同好会
- ・ ダンスボーカル同好会

6. 入 学 試 験 ま で

皆さん、中高部の概要を理解できましたか。では、中学部に入学するまで、どんなことを準備するのかお話しします。

中学部の学習は、各教科とも小学部で学習したことをより深く勉強して行くものです。時には、これまでまったく知らなかったようなことも学習します。しかし、これらはすべて小学部での学習が基になっており、中学部の先生方も皆さんが小学部での学習が身に付いているということを前提として授業をしています。最初のうちは、小学部で学習したことを思い出しながらの学習が多いです。ですから、小学部での学習内容がしっかりと身に付いていれば、中学部で新しいことに取り組んでもすぐに理解ができるようになります。

では、今皆さんが中学部での学習に備えておくことは何でしょう。

それは、小学校での学習を復習することです。しっかり復習をして、中学部の学習に備えてください。小学校 6 年生の国語の教科書を繰り返し読むこともよい方法です。

さあ、今日から、小学部卒業までの 1 日 1 日を有効に過ごし、中学部での学習に備えましょう。

登校/下校時間・遅刻について

登下校の方法についても、幼小部とは違いますので注意してください。

<登校時間>

中高部の登校時間は 8 時 35 分までです（令和 8 年 1 0 月現在）。登校したら校舎前のヤードに集合します。8 時 35 分から朝会が始まります。朝会后、各学級の担任の先生の引率でそれぞれの教室へ移動します。また補習校は保護者、あるいは保護者が許可した大人による送迎が基本です。生徒だけで公共の交通機関を使用しての登下校は禁止されています。

<遅刻について>

朝会開始の 8 時 35 分までに朝会場所にいない場合は、遅刻と見なされます。遅刻者は朝会では、学級の列ではなく遅刻者の列に整列します。この遅刻が 3 回になったら、担任の先生からご家庭に注意の連絡が入ります。また、遅刻が 7 回になったら学校から注意喚起を促す手紙が渡されます。その手紙に保護者の方が署名をして学校に提出します。また、このとき遅刻理由と今後の目標も書きます。いろいろな事情があつて遅刻をしてしまうことがあると思います。しかし、そうならないように注意して登校してください。さらに遅刻が続いた場合、主幹との面談、そして保護者に学校に来ていただくことになります。

朝会は、全校の生徒、先生方が集まり、1 日を通しての、あるいは生徒会からの連絡事項をみんなで確認して 1 日を始める大切な時間だと考えています。遅刻をしないように気をつけてください。

<遅刻・早退のサインについて>

朝会以後の遅刻の場合は、必ず保護者と生徒と一緒に職員室まで来てサインをしなければ教室には入れません。

早退する場合も、保護者が職員室でサインをし、こちらで生徒を職員室まで連れてきます。

<下校時間>

中高部の下校時間は3時10分（令和8年10月現在）です。校門前でピックアップとなります。3時25分になっても迎えがない場合は、校舎内（図書室）で待機することとなります。その際はお迎えの方に図書室まで来ていただき、職員室で確認して受け渡しとなります。

送迎時についてのお願い

保護者の皆様には、生徒の送迎時の安全確保に、ご理解とご協力をいただきありがとうございます。下記の注意事項にご留意いただき、安全な送迎をお願いいたします。

中高部サンフランシスコ校の所在地

Lowell High School
1101 Eucalyptus Dr.
San Francisco, CA 94132

中高部電話（土曜日のみ）(415)990-5087

【注意事項】

- 所定の路上でドロップオフして、徒歩で校門まで送迎をお願いします。くれぐれもルールを守り近隣住民への配慮をお願いします。
- バス停前での乗降車は禁止です。
- ダブルパーキングは、たとえ運転者が乗車していても禁止です。ダブルパーキングでのドロップオフも禁止です。
- 交差点内では乗降及び駐停車は禁止です。
- Uターンはしないでください。
- クラクションは鳴らさないようにしてください。
- 交差点では、必ず横断歩道を通ってください。

